



日本赤十字社キャラクター  
ハートちゃん

みんなの想いを届ける

5月・6月は赤十字運動月間

「赤十字活動資金」へのご協力をお願いします。

日本赤十字社は、国内の災害時の救護をはじめ、国外の紛争・自然災害の被害者に対する緊急救援活動など様々な人道的活動を行っており、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

国際活動  
の充実

災害救援体制  
の充実強化

健康・安全の  
ための知識と  
技術の普及

赤十字奉仕団  
の活動

青少年赤十字  
の活動

赤十字精神と  
社資の普及

義肢製作所  
の運営

皆様のご協力ありがとうございました！

| 市原市地区 令和4年度 日赤社資報告     |             |
|------------------------|-------------|
| 一般社資 (町会・自治会を通じてのご協力)  | 10,989,711円 |
| 法人社資 (奉仕団・事務局を通じてのご協力) | 1,118,153円  |
| 総 額                    | 12,107,864円 |

問合せ先：日本赤十字社市原市地区（市原市社会福祉協議会内） TEL.0436-24-0011

救うを託されている。



赤十字活動資金へのご協力をお願いします



赤十字運動月間広報

社協だよりは、5月・9月・3月の年3回発行（町会回覧・新聞折込）されます。

いちばら



社協だよりは、町会長の皆さまにご協力いただき、町会回覧にて配布しています。



<http://www.ichihara-shakyo.or.jp/>

E-mail [info@ichihara-shakyo.or.jp](mailto:info@ichihara-shakyo.or.jp)

【発行】市原市社会福祉協議会

〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436 (24) 0011 FAX.0436 (22) 3031



YouTube



Twitter



facebook



市原市社協HP



LINE・市原市社協



LINE・指定管理施設

No.245

2023  
5月号

養成講座

第1期

「市原市市民後見人」養成講座  
事前説明会を開催

成年後見制度の需要がますます高まっている中で、同じ住民の立場で寄り添い、判断能力が十分でない方を身近な立場から支える市民後見人の養成講座を開催します。

講座では、後見人に必要な知識や姿勢を学びます。「第1期市民後見人養成講座」を実施するにあたり、事前説明会を開催します。

日 時 ①令和5年7月12日(水)13:30～ ②令和5年8月5日(土)10:00～  
※養成講座の参加には、どちらかの事前説明会への参加が必須です。

場 所 市原市社会福祉協議会 3階会議室  
(市原市南国分寺台4-1-4)

申込先 市原市成年後見支援センター(市原市社会福祉協議会)  
TEL. 0436-26-6200



市民後見人



養成講座の開催内容

① 講 義 全32講座

9月…9・23・30

10月…14・21・28

11月…11・18

※すべて土曜、9:30～16:00

② 実務研修

- 12月～2月の期間  
(平日2日間実施)
- 専門員と同行支援

報告

収集ボランティア活動

令和4年度市民の皆様からお寄せいただいた  
“使用済み切手”のご報告をさせていただきます。

使用済み切手

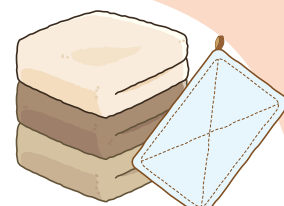
約 24.63 kg

知的ハンディキャップの問題に取り組んでいる団体  
「誕生日ありがとう運動本部」に送らせていただきました

今後も継続していきますので、  
ご協力宜しくお願いいたします。



タオル・雑巾  
差し上げます



「明治安田生命 市原中央営業部」様、「千葉県退職公務員連盟 市原支部」様より、タオル・雑巾を寄附していただきました。必要としている団体・施設等ありましたら、ボランティアセンターまでご連絡下さい。

申込み・問合せ先：ボランティアセンター

TEL.0436-20-3100 FAX:0436-22-3031

Mail: VC@ichihara-shakyo.or.jp

お詫び

2023年3月号に掲載しました寄附内容に誤りがありました。修正しここに  
お詫び申し上げます。

【変更前】

皆川 文子…100,000円

【変更後】

美楽来留(みらくる)…10,000円

ありがとう

寄 附

2～3月

敬称略

- 匿名(光風台在住) ……20,000円
- 匿名(若宮団地在住) ……7,000円
- イトーヨーカドー労働組合姉崎支部 ……6,200円
- 三井化学労働組合 千葉支部 ……20,000円
- 育友会 ……31,379円
- 三崎町TSビル株式会社  
(コードアドベンチャー市原校) ……15,000円

1世帯200円が地域を支える財源に!

社協会員募集中

ふれあいと支えあいのある  
心豊かなまちづくりをめざして

皆さまからの会費が地域福祉活動を支えています



本会では住民の皆さまが、ともに支え合い、助け合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。そのために、社協では「会員制度」を設けて皆さまの福祉活動の参加をお願いしています。

| 会員の種類と金額       |                                |            | 令和4年度実績       |
|----------------|--------------------------------|------------|---------------|
| 住民会員           | 町会(自治会)長を通じて、皆さまにご協力いただいております。 | 200円/世帯    | 12,124,420円   |
| 法人会員           | 企業・法人                          | 10,000円/1口 | 335,110円      |
| 団体会員           | 市内の福祉施設・団体                     | 5,000円/1口  | 252,000円      |
| 個人会員           | 本会活動に賛同いただいた方                  | 1,000円/1口  | 16,000円       |
| ご協力ありがとうございました |                                |            | 総額12,727,530円 |



01

## 地区社会福祉協議会への支援



市内11地区において、地域住民同士の支え合い・助け合いにより、生活課題を抱える住民を地域で孤立させないための居場所づくりや、日常生活上の相談やちょっとした困りごとを解決するための取り組みなど、地域の実情に合った活動を推進しています。



02

## 小域福祉ネットワークへの支援

小学校区において、地域の組織・団体等が連携・協働し、高齢者や児童の見守り、防災や防犯に関する取り組みなど、住民にとってより身近な範囲で地域や住民の課題解決に向けた活動を推進しています。



03

## サロン事業



市内にお住いの65歳以上の高齢者や、未就学児のお子様のいる子育て家庭、障がいをお持ちの方々を対象とする「各種サロン」を開催し、住民同士が気軽に集える“ふれあい・仲間づくり”の場を設置・推進しています。令和5年度からは、分野ごとに分かれて開催していたサロンを、地域に住む子どもからお年寄りまで全ての地域住民が参加できるサロン活動を展開していきます。

04

## 安心生活見守り支援事業

市内41の小域福祉ネットワークが実施主体となり、定期的な見守りを希望する一人暮らしの高齢者や高齢者世帯などを対象に、安心訪問員が訪問・声かけを行うなど、地域の中での見守り体制の構築を推進しています。



05

## 地域福祉支援事業 (歳末たすけあい運動)



共同募金会歳末たすけあい運動の一環として、各地区で地域の誰もが安心して、あたたかい年越しを迎えられるよう、各地区で工夫を凝らしたクリスマス会やお楽しみ会を実施しています。



06

## 日常生活支援事業



公的制度や民間サービスで補えない地域住民の日常生活上の困りごと(家事・買物代行など)に対し、住民同士がお互いさまの感覚で支え合う活動です。会員制・有償制となっており、現在市内6地区(辰巳台・ちはら台・市津・三和・有秋・国分寺台)で実施しています。



# 自分たちの手で 地域を住みやすく

# するために

地域づくり支援

地域住民の支え合い

# たすけあいのある地域づくりを推進します。



07

## 生活支援体制整備事業 (第2層協議体)



介護保険制度の一環として、「介護予防」と「生活支援」の視点から、“住み慣れた地域で生活する高齢者等が、健康で末永く暮らせるような生活支援サービス等の仕組みづくりを進めることを目的に、市内11地区に第2層協議体及び生活支援コーディネーターを設置し、支え合いの輪を広げていく活動を推進しています。

介護予防

生活支援



08

## いちほら地域・子ども食堂ネットワーク

市内で「地域・子ども食堂」を運営している団体の情報交換や交流および、これから「地域・子ども食堂」を立ち上げる団体を支援し、「地域・子ども食堂」の輪を広げることを目的として令和4年4月に設立されました。現在、10団体がネットワークに加入しています。



09

## いちほらフードネットワーク



食品ロスの軽減と「困ったときはお互いさまの地域づくり」を推進するため、食品(賞味期限2カ月以上で常温保存できるもの)を募集し、集まった食品を食料の支援が必要な世帯に、無償で提供する「いちほらフードネットワーク」(市原市独自のフードバンク)を開設しました。



現在、市原市社会福祉協議会の他、イトーヨーカ堂のアリオ市原店・姉崎店、マックスバリュ辰巳台店にフードドライブ用食品回収ボックスを設置しています。

# (有) 山下商店から寄附をいただきました

令和5年2月、青柳にある「(有)山下商店(モンマートぱる)」様の閉店に伴い、多数の食品寄附をいただきました。いただいた食品は、地域・子ども食堂への配布による運営支援や、生計相談者への緊急的な現物給付として活用させていただきます。

